



第3回 元岡地区 新設中学校（仮称）開校準備委員会

日時：令和6年11月1日（金）15時00分～
場所：周船寺公民館

～会議次第～

1 議 事

①元岡地区新設中学校（仮称）の校名案の意見募集結果及び決定について 資料1

②新設中学校 校章・校歌の作成について 資料2

2 その他

①教育目標の検討状況について 資料3

②通学路案の検討状況について 資料4

3 連絡事項

○第4回開催について（予定）

日程：令和7年2月

議事：校章・校歌の検討について
教育目標の決定について
通学路（案）の決定について

元岡地区新設中学校（仮称）の校名案の意見募集結果及び決定について

1 【校名案】これまでの検討経過、今後の予定

時期	内容
第1回委員会 (R6.5.31)	- 校名の決定時期、基本的な考え方、選定方法の確認 - 各団体で校名案を検討し、第2回開校準備委員会の開催2週間前までに事務局へ案を提出。事務局において集約後、委員会で具体的に案を検討する。
第2回委員会 (R6.8.2)	- 周船寺中、西都中、学研都市中で絞るという意見もあったが、各組織に持ち帰り、再度検討することとなった。 - 第3回は周船寺中かそれ以外かで多数決をとってから議事を進めていくこととなった。
9月下旬～	地域・保護者の方に対する意見募集の実施
第3回委員会 (R6.11.1)	開校準備委員会としての校名案を、最終的に選定
R6.11 頃	委員会ニュースにより地域・保護者の方へ開校準備委員会としての最終選定内容をお知らせ
R7.2 頃 【予定】	選定された校名案による中学校設置条例の改正について、教育委員会会議を経て、市議会へ条例改正案を提出

2 意見募集の結果について

(1) 意見募集の方法

対象	期間	部数	備考
地域・保護者の皆様	9月下旬～ 10/18	9,636	公民館へ全戸配布を依頼
その他（掲示等）	9/19～	38	駅、幼稚園、保育園等へニュースを送付
ホームページ閲覧者	9/20～	-	福岡市教育委員会ホームページにニュースを掲載。学校計画課充ての電子メール及び電話で受付
		9,674	

(2) 意見要旨

校名については次のとおりご意見をお寄せいただきました。

- ・歴史的背景を考えると周船寺中学校しか考えられない。
- ・子どもが西都北小学校に通っているのに、元岡中学校に通うことになる。
したがって、西都中学校は反対。周船寺中学校が妥当。
- ・西都は新しい地域の呼称として定着しており、西都中学校の方が新設中学校だと分かりやすいため、西都中学校を希望
- ・周船寺小と西都小の子どもが進学する中学校なので、どちらかの名前をつけるというよりは、あえて違う名前が良い。
- ・周辺住民を含めて、オンラインで校名の投票を行うのはどうか。
- ・地元の人を除いた第三者で話し合いをすればいいのではないかな。

新設中学校の校名（案）の検討及び選定について

1 福岡市立小中学校の校名の基本的な考え方について

校名の検討に当たっては、以下の点に留意することとしています。

- 原則として常用漢字を使用する。
- 難しい漢字や誤読しやすい漢字は使用しない。
- 通学区域を考慮して、その地域にふさわしい校名とする。
- 児童生徒の負担等に配慮して、極端に長い校名は避ける。

2 新設中学校の校名（案）について

上記1の留意事項を踏まえ、第1回開校準備委員会終了後、各組織より校名（案）や意見を挙げていただいております。その中で、挙げられた校名（案）が下記の表のとおりです。

◆挙げられた校名（案）

校名案	分類
周船寺中学校	地名…学校の地名（住所地）に由来するもの
西都中学校 さいと中学校	準地名…校区内の地名や町名に由来するもの
伊都中学校 伊都東中学校 伊都○中学校	その他…複数の地名や方位を組み合わせたもの
学研都市中学校 学都中学校	その他…複数の地名や方位を組み合わせたもの
元岡第2中学校 元岡第二中学校	その他…複数の地名や方位を組み合わせたもの
福岡西中学校	方位…学校の地名や町名に、方位を加えたもの
みらいと中学校	その他…複数の地名や方位を組み合わせたもの
元岡南中学校	その他…複数の地名や方位を組み合わせたもの
徳永中学校	準地名…校区内の地名や町名に由来するもの
女原中学校	準地名…校区内の地名や町名に由来するもの
湯溜中学校	地名…学校の地名（住所地）に由来するもの

いただいた校名(案)の中から、開校準備委員会としての校名(案)を選定します。

新設中学校 校章・校歌の作成について

1 校章・校歌に関する基本的な考え方

■作成の対象

元岡地区新設中学校（仮称）の校章・校歌を作成する。

■作成の時期

第6回開校準備委員会（令和7年7月開催予定）まで

■教育目標との整合性をとる

【校章】イメージを整理し、教育目標との関連調整を図る。

【校歌】キーワードを整理する。

2 校章・校歌作成の方法

■作成者について

（案1）開校準備委員会で依頼者を決定する

例：大学等の専門家、市立小・中学校の音楽教員、美術教員等

（案2）公募する

■作成の考え方

（案1）開校準備委員会委員に対して、校章や校歌に対する思いやイメージに関するアンケートを行う。

（案2）児童生徒や保護者、地域から広く、校章のデザインや校歌に取り入れたいフレーズなどを公募する。

■作成過程の周知

・検討状況を開校準備委員会ニュース等で情報発信をし、作成の過程を保護者、地域に周知していく。

【直近の事例1 照葉はばたき小】

【校章】照葉小・照葉北小の校章をアレンジした案とオリジナルの案で比較検討する。

作成者：牧 敦司（マキ アツシ）氏 ※（株）醇建築まちづくり研究所 所長

【校歌】新しく作詞・作曲を依頼し、作詞に関しては子どもたちの意見から要素を取り入れる。

作成者：（作詞）久保田 篤（クボタ アツシ）氏 ※令和4年度照葉北小学校校長
（作曲）櫻野 貴史（サクラノ タカシ）氏、小島 薫子（コジマ カオル）氏
※ヴァイオリン教室経営

【直近の事例2 西都北小】

・校章のイメージ、校歌に入れたい言葉などを児童、保護者、地域住民へアンケート

【校章】作成者：源田悦夫（ゲンダ イツオ）氏 ※九州大学院芸術工学研究院 特任教授、西都小学校の校章も担当

【校歌】作成者：MOCA 氏 ※音楽グループ ベリーグッドマンのメンバー

新設中学校 校章の検討について

1 校章について

(1) 校章とは

「校章（こうしょう）」とは、学校を象徴する記章です。

学校への所属を表すことや、他校との識別のために用いられます。

学校設置の要件として校章や校歌を準備する旨の法規等は存在しませんが、慣習的に、学校には同じ学舎で目的を一つとして学習に励むものの心の繋がりを高めるために校章があり、校歌がある、とされています。

(2) 校章デザインへの意味づけ

福岡市立の小中学校の「校章」は、学校名やその学校が目指す教育目標を具象化したものや、入学時のシンボルであるさくらの中に校名をデザインしたものなどが多く見られます。

(3) 校章の事例

元岡中学校



周囲の水田にシラスギが群れをなして住んでいたことから、シラスギと酷似した鶴の純白平和、鶴の縁起にちなんで考えられた。

箱崎清松中学校



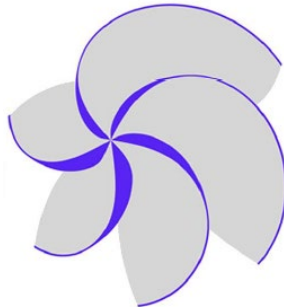
周りに三つの松（筥松・松島・松田）、三つのペン（三方に広がる勉学）をモチーフとしたデザイン。

周船寺小学校



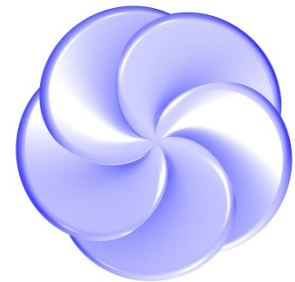
いつの時点で校章が現在のものになったかは明確ではないが、周船寺校区の古墳等から出土した勾玉や刀剣が由来となって、地に根差した校章がつくられたと伝えられている。

西都小学校



西都小学校の目指す児童像であるサイエンス、インターナショナル、トライをもとに、数学的にシンプルに生成できる美しい形をイメージ。

西都北小学校



西都小の校章をアレンジ。郷土の歴史や文化への興味と愛情を持ち、豊かな表現能力や多様な変化に対応できる人材を育成するという願いを込めている。

1 校歌について

(1) 校歌とは

「校歌（こうか）」とは、児童生徒や教職員が学校行事の際に唱う歌のことです。

広義には、その学校公認の歌、学校にまつわる歌（応援歌・寮歌など）もすべて校歌ともいえますが、一般的には、広義の意味を示す学校歌の中で最もその学校を代表するに相応しい歌を「校歌」と称しています。

(2) 校歌への意味づけ

メロディについては作られた時代や作曲者などによって違いは様々ですが、歌詞については一定の類型が存在し、よく歌われる内容としては次のようなものが挙げられます。

○学校の所在地周辺の自然や地理、風土、具体的な地名 など

○学校の標語や校訓、教育理念、校風 など

○学校や学校の所在地の歴史

○社会や未来への貢献、新しい社会の建設などを語るモットーやスローガン

○学校名

(3) 新設中学校ブロック・元岡中学校の校歌

福岡市立周船寺小学校 校歌

作詞 徳永 俊夫

作曲 森脇 憲三

朝だ光だ 高祖の峯を
のぼる朝日の 輝きあびて
かわす笑顔に 心もはずむ
みんな揃って 体を鍛え
われ等の道を
強く正しく 進もうよ

愛だ力だ 学びの庭に
湧いて溢れる 生命の泉
恵みたたえて 豊かに流る
みんな仲よく 手と手をつなぎ
われらの町を
清く明るく 築こうよ

徳だまことだ 宮崎開き
熱しのべば 風さえかおる
進む世紀に おくれぬように
みんなたゆまず つとめを励み
われらの国を
文化日本を 興そうよ

福岡市立西都小学校 校歌

作詞・作曲 弓削田健介

時を越えて 聴こえてくる
懐かしい 希望の歌
千年前の子どもたちも
きっとここで歌っていた
輝く夢のバトンを 翼に変えて
新しい風を受けて
羽ばたこうよ

鐘撞山 玄界灘
宮崎開きの煌めく大地
そしてこの街の優しい人達の
まなざしに守られて
ああ 夢を描く 西都小学校

空を越えて 海を越えて
世界中の仲間たちと
つながりあい 助け合える
伊都の国の歴史が薫る
出会えた奇跡胸に 手を取り合
って
一緒に 豊かな未来(あす)を
切り拓こうよ

笑顔の花 希望の歌
光あふれる学び舎
そしてこの街を愛する人達の
まなざしに守られて
ああ 夢に挑む 西都小学校
西都小学校

福岡市立元岡中学校 校歌

作詞 笠 政雄

作曲 長谷川 良夫

明けゆく光に 羽ばたく田鶴の
久遠の希望は われらの紋章
宮崎開きに風薫る
賢人のあとを偲びつつ
生したてなん わかき生命
元中元中元中 われらが母校

窓辺をめぐる 玄海の潮
西なる御門の 護りは古し
進む世紀の足音に
文化日本の誇りもて
競い振わん わかき力
元中元中元中 われらが母校

高祖の山並み 緑を湛え
瑞梅寺川の 流れは清し
この揺るぎなき友垣の
固き誓いにこぞり立ち
ともに磨かん わかき心
元中元中元中 われらが母校

元岡地区新設中学校の学校教育目標について

○福岡市をめぐる教育の動向

- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（令和3年4月）
- ・「次期教育振興基本計画」（令和6年6月）
- ・「次期（第3次）福岡市教育振興基本計画」（令和7年予定）

○地域の状況

・周船寺校区

5世紀前半に造られた丸隈山古墳や江戸時代から続く獅子舞など、多くの史跡・文化財が残っている。

校区の中央部を JR 筑肥線、国道 202 号、同バイパス、そして西九州自動車道が東西に通っている。

九州大学の伊都キャンパス移転による大学生や海外からの留学生が増加している。

明治8年、周船寺小学校が開校。

・西都校区

さいとびあ南側にある山ノ鼻古墳があり、4世紀前半の築造で国指定史跡「今宿古墳群」のなかで最古の古墳。

江戸時代に「農業全書」を編纂した宮崎安貞の書斎などが残っている。

平成 17 年、JR 九大学研都市駅が開業。

平成 29 年に西都小学校が開校。令和5年に西都小学校を分離し校区北部に西都北小学校が開校。

○新校舎の特徴

新しい時代の学びを実現する学校施設づくり

- ・グループ学習などの多様な学習形態への対応や学年集会などの多目的に使用できる柔軟な学習空間
- ・休み時間に集い繋がる空間、放課後に自主的な勉強・読書に打ち込める空間

○各学校の学校教育目標

元岡中学校…自分を大切にし、他の人を思いやる共生の精神をもち、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

周船寺小学校…人間尊重を基盤にして、これからの「社会の変化に主体的に対応し、求めて学び、心豊かで、たくましい実践力をもった子供の育成

西都小学校…やさしさとたくましさをもち、ともに学び、地域とともに未来を創り出す子どもを育成する



通学路案の検討状況について

1 通学路検討ワーキンググループメンバー（再掲）

<メンバー>

氏名	所属
木下 哲	元岡中学校 教頭
衛藤 厚介	中学校教育課 主任指導主事
池田 武裕	安全・安心推進課 主査
福島 大輔	学校計画課 学校計画第3係長
淵上 碧	学校計画課 係員

※必要に応じてワーキングを開催する。

2 ワーキング開催状況 ※第2回開校準備委員会（8/5）開催後

日にち	内容	相手方等
8月19日(月)	現地確認	通学路調査
9月4日(水)	道路の幅員について	福岡県西警察署交通課
9月11日(水)	現地確認	通学路調査
10月3日(木)	道路の幅員について	福岡県警察本部交通規制課
10月7日(月)	今後の進め方について協議	ワーキンググループメンバー
10月9日(水)	現地確認	通学路を歩いて調査
10月11日(金)	事業概要説明	福岡国道事務所
10月15日(火)	通学路の整備について協議	西区土木第2課

3 通学路（案）の検討状況について

資料4-2のとおり

4 今後のスケジュールについて

